

パキスタン情勢について

10年2月 南西アジア課

アフガニスタン・パキスタン治安情勢の悪化

連邦直轄部族地域
(Federally Administered Tribal
Areas: FATA)



治安情勢の悪化を受け、パキスタン政府は対テロ作戦を開始。

- アフガニスタンとの国境地域(連邦直轄部族地域:FATA)が武装勢力の温床と化し、アフガニスタン・パキスタン情勢が悪化。
- ザルダリ大統領の支持率も低迷。(米系シンクタンクの調査によれば、08年の64%から09年5月には32%まで低下。)

パキスタン政府のテロ対策

- パキスタン政府は過激派対策として三叉戦略(Dialogue, Development, Deterrence)を追求。
- 09年4月、北西辺境州スワートにおいて作戦開始。
- 09年10月、FATA南ワジリスタン管区においても作戦開始。

武装勢力による報復テロ多発。

- パキスタン平和研究所によれば、09年には2586件(08年は2148件)のテロ事件が発生し、3021人が死亡(08年は2267人)するという過去最悪記録を更新。

我が国の対パキスタン支援

- IMFは08年11月、「パ」政府からの要請を受けて、2年間で76億ドルの対「パ」融資を決定。
- 09年4月、パキスタン・フランス閣僚会合及び支援国会合を東京で開催。国際社会が総額50億ドル以上の支援を表明。我が国は2年間で最大10億ドルの支援をプレッジ。
- 09年11月、アフガニスタン・パキスタンに対する新たな支援パッケージを発表し、パキスタンに関しては、09年4月にプレッジした2年間で最大10億ドルの支援を迅速に実施することを表明。
- 具体的には、
 - ①経済成長支援(電力セクターを含むエネルギー、インフラ整備)やマクロ経済支援(世銀との協調融資)を実施。貧困削減分野(医療、保健、基礎教育、農村開発等)において住民の生活改善を図る。
 - ②マラカンド地域を含む北西辺境州、連邦直轄部族地域(FATA)の民生安定を図る。国内避難民(IDP)、アフガン難民を支援。